B13-P-33

木材の横圧縮時における細胞の変形挙動 ~年輪内の細胞形状の違いに着目して~



(京府大生命環)〇田井駿一, (京府大院生命環)宮内康平, 井手友海, 三好由華, 古田裕三, 大越 誠



背景

スギ、ヒノキなどの

比較的軟質な材の圧密加工に関して・・・



材全体の形状変化

細胞の形状が変化

詳細な変形挙動は明らかでない

工業的にも経験に基づいた加工法が用いられることが多い・・・

詳細な圧縮変形挙動の解明

上の可能性

既往の研究より 未圧縮のスギとヒノキで年輪内の細胞形状およびその分布が異なる藤原 (1995)

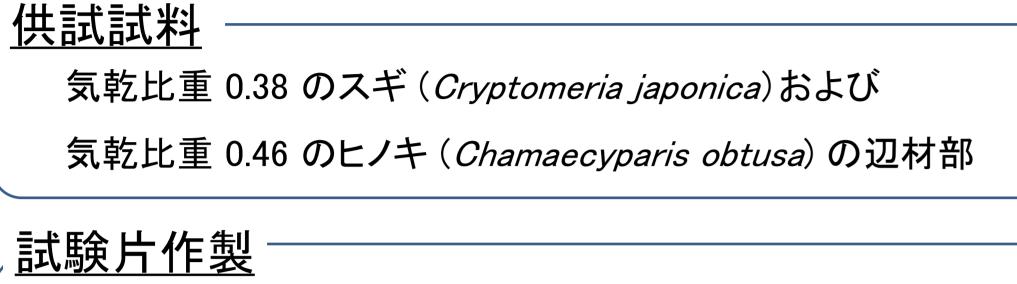
→ 圧縮変形挙動に関係??

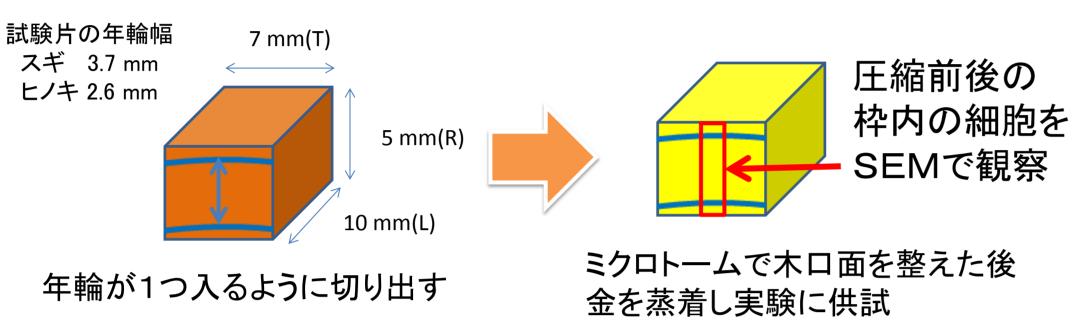
本研究では

スギ、ヒノキ材について・・・

- 1年輪内の細胞形状を把握
- ●細胞の圧縮変形過程を段階的に観察
 - →細胞の変形挙動との関係について検討

【実験方法】





年輪の圧縮率(%)

|0:圧縮前の年輪幅 p:圧縮後の年輪幅

段階的圧縮過程の観察

試験片木口面を電子顕微鏡で観察 2回目の観察以降 圧縮前後の年輪幅から年輪の圧縮率を測定

気乾状態の試験片を 200 ℃熱板中でR方向に約 50 µmずつ **圧縮**

年輪の圧縮率が約60%になるまで この操作を繰り返し行った

圧縮方向

圧縮前の細胞形状の把握

未圧縮の試験片から無作為に5細胞列を選択

1年輪内のすべての細胞でT・R方向の寸法を測定



未圧縮のスギの1年輪 (各色の矢印の範囲が下の写真と対応)

R/T = R方向の寸法 T方向の寸法

細胞の形状の尺度として使用

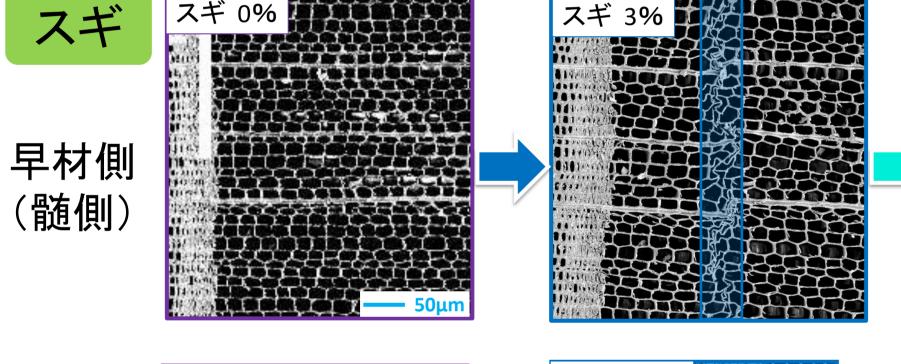
圧縮方向

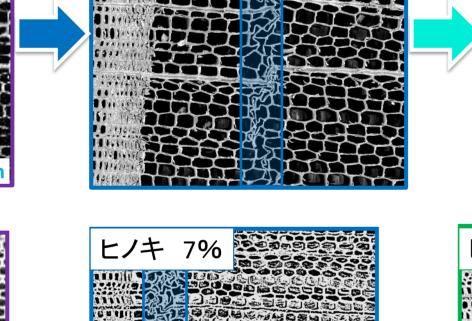
晚材側

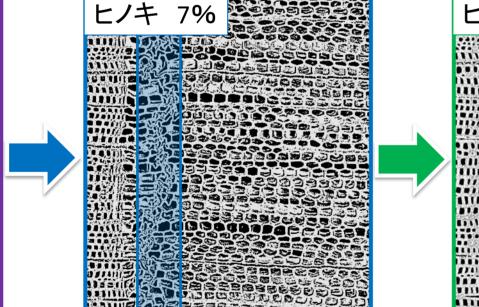
【結果と考察】

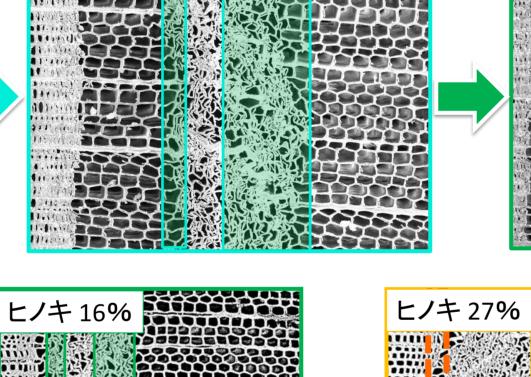


※網掛け部分は新たに座屈した細胞

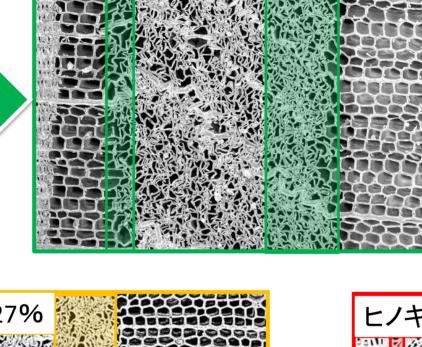


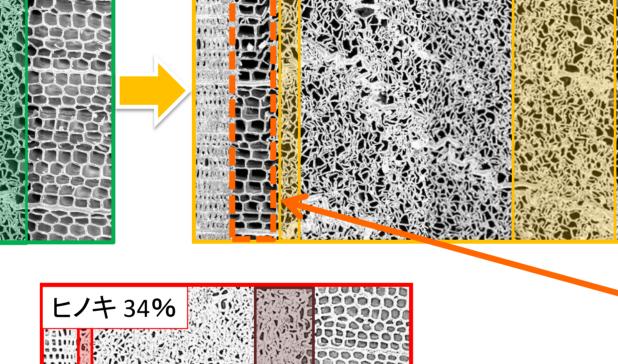






圧縮前の





晚材側

(樹皮側)

初期早材部の細胞は 座屈しにくい!

1年輪内において細胞の座屈変形が起こる順序

早材側の細胞

早材側

(髄側)

変形した細胞の周りの細胞

最初に座屈が起こる位置

ヒノキよりもやや晩材側で

座屈が生じる

早材側の最初期の区画で

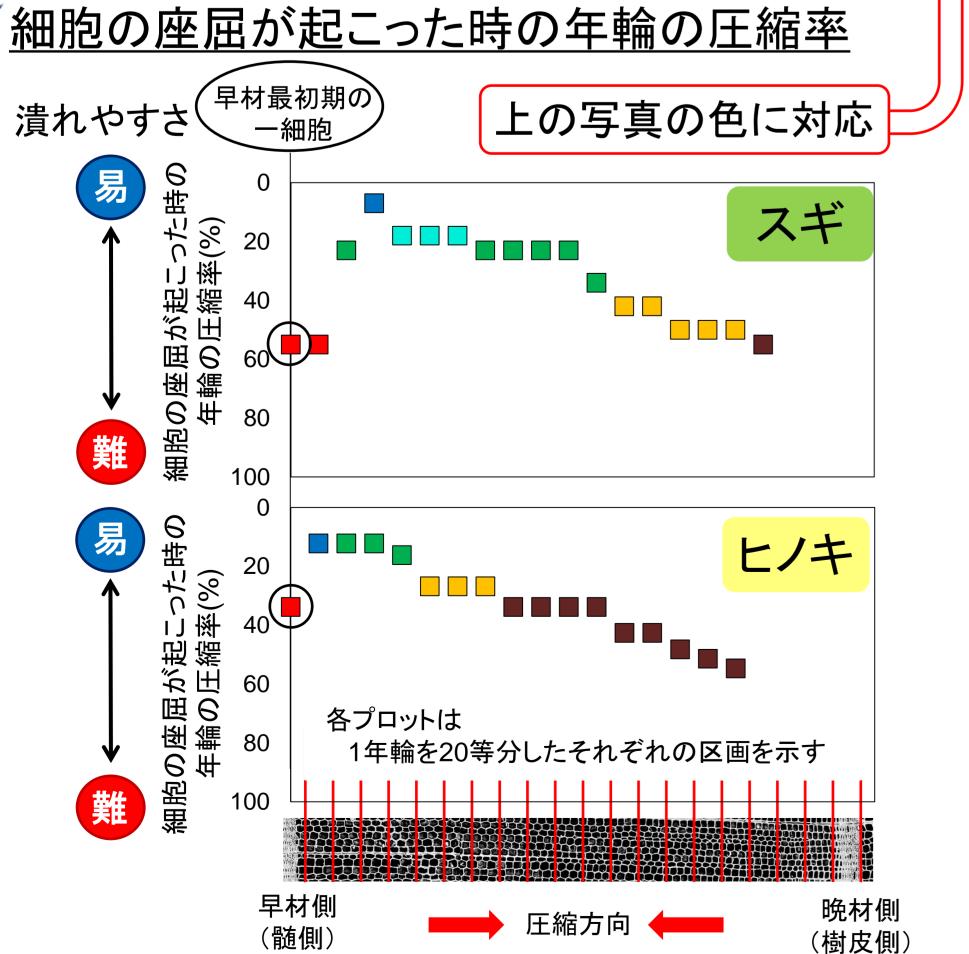
座屈が生じる

初期早材部の細胞を除く圧密部の周りの細胞

初期早材部の細胞

圧密部より晩材側の細胞

年輪内の各位置において



早材側の最初期の区画

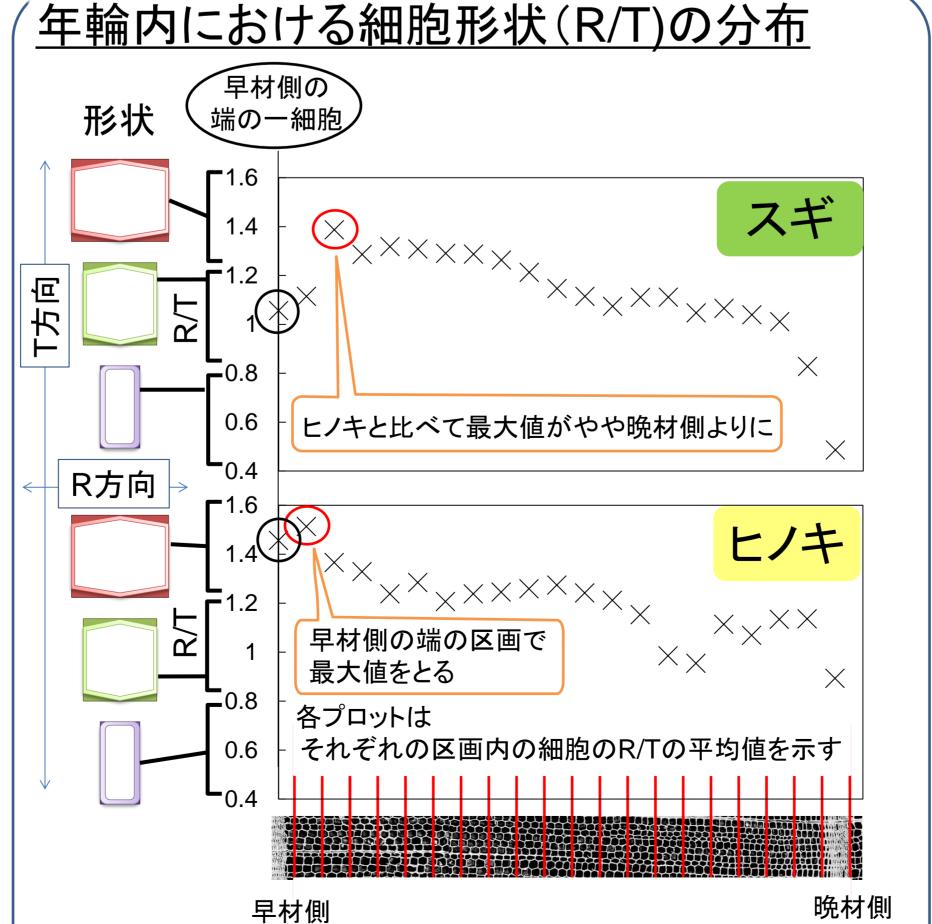
初期早材部の2~3細胞が

座屈しにくい

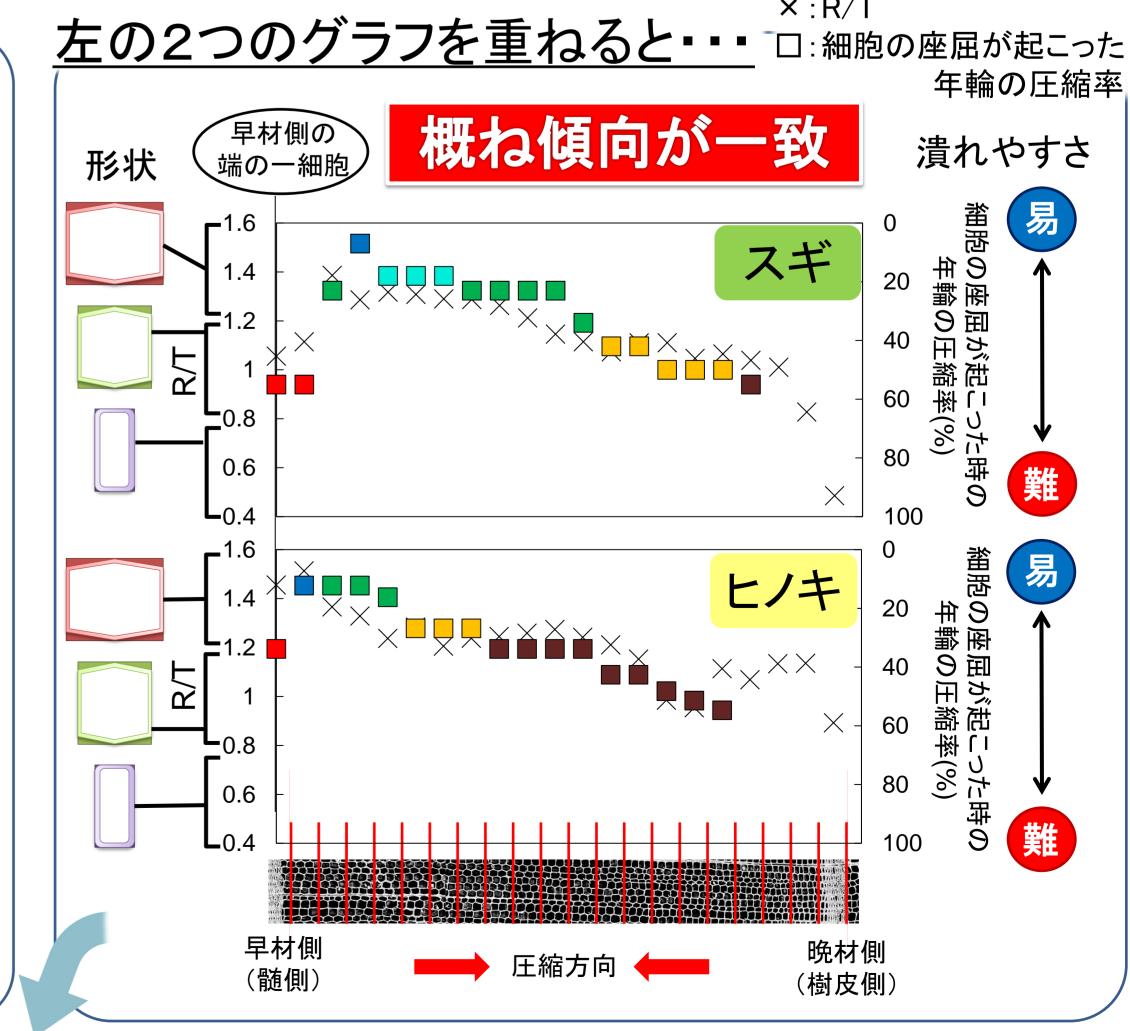
最初期の1細胞のみ潰れにくく

スギより低圧縮率で座屈する

スギ



(髄側)



年輪内でR/Tの大きい部分の細胞ほど座屈しやすい傾向

(樹皮側)

今後は・・・

スギ、ヒノキに関して年輪内密度、壁厚など 形状以外の圧縮変形挙動に影響を与える 因子について検討を行っていきたい

1年輪内のT·R方向の寸法比の分布が圧縮変形挙動に影響